

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko

青森県八戸市出身 国際文化研究専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』
現在 大阪府 太成学院大学 勤務

e-mail: leoshironeko@yahoo.co.jp



この号の内容

- 1 イタリア これが警察車両!?
ウラカンの警察仕様がデビュー
- 2 EU支部だより

イタリア これが警察車両!?

ウラカンの警察仕様がデビュー 2017年03月17日(Fri)

- ・ランボルギーニ
- ・176 件の援助要請
- ・人命救助



ランボルギーニは3月30日、ウラカンをベースにした警察車両「ウラカン・ポリツィア」をローマのイタリア警察ハイウェイパトロール隊に納車したことを発表した。納車セレモニーでは、ランボルギーニのステファノ・ドメニカリ会長兼 CEO 自らが警察関係者にキーを手渡した。医療援助にもひと役:ポローニャのハイウェイパトロールに使用されるウラカン・ポリツィアは、救急医療や医療援助のためのトランスポーターとしての役割も担う。ベース車は610psを発揮するV10エンジンを搭載し、4輪を駆動するウラカン・クーペで、ボディはイタリア警察の制式カラーであるポリス・ミディアムブルーとホワイトにペイントされるほか、サイドにはイタリアトリコロールのストライプが入る。もっとも、「POLIZIA」のロゴや、ルーフに備わるインジケーターによって、それが警察車両であることは明らかだ。キャビン内には、ビデオカメラとタブレットからなる車載システムや記録装置などのハイテク機器に加え、携帯用消化器や警察用ラジオ、車両を安全に停止させるための標識などが積まれている。高速道路における交通違反車両の検挙もさることながら、ウラカン・ポリツィアの本質的な任務は医療援助にあるという。具体的には、一刻を争う移植臓器や輸血用血液の輸送などが挙げられる。フロントボンネット内に臓器等を輸送するための特別な冷凍システムが備わっているのはこのためだ。事実、先代型にあたる「ガヤルド・ポリツィア」稼働時には、この車両によって多くの患者を救うのに貢献したとのこと。ちなみに2016年は、イタリア全土から176件の援助要請があったという。さらにこの車両には、除細動器も装備され、不整脈や心室細動を引き起こした人への救命措置を施すことも可能になっている。ウラカン・ポリツィアは、高速道路の安全を守るだけでなく、その卓越したパフォーマンスを存分に活かして、人命救助にも役立てられるというわけだ。2017年4月3日21時0分 GetNavi web

- ・活気ある宇都宮
- ・世界のパトカーベスト3



EU 支部だより —世界のパトカー—

ゴールデンウィークに大阪から宇都宮そして実家と、おおむね日本を縦断した。宇都宮での滞在は短かったため、いつもお世話になっている皆さんとお会いすることが出来ずとても残念だったが、それでも、宇都宮の変化を感じとるには十分だった。まず、第一に、小さなお店がたくさんできていた。レストランというかビストロというか、イタリア的にはタベルナといった小食堂のような飲食店が元気そうにあちこちに、しかもおしゃれに店を出していた。さらに、町全体でも活気あるイベントが繰り広げられていた。そんなイベントの1つに、二荒山神社の鳥居下の広場で車の展示があった。車体にアニメを描いた車や、スワロフスキーばりにきらきらデコった車などが集結。多くのファンでにぎわっていた。その中でも私の目を引いたのが2台の警察車両だった。警察車両なのに車体が低くかっこいい。な、な、なんとフェラーリ。違反車は絶対逃げられないぞ。そんな勢いをも漂わせた警察車フェラーリの周りにはひとときわんばかりができていた。ちなみに、警察車両といえばパトカーだが、パトカーとすれ違うとき、何も悪いことをしていないのに、ちょっとドキドキしてしまうのは私だけだろうか。日本のパトカーは「白」と「黒」の2色使いだが、他の国はどうなのだろうか。私の世界のパトカーベスト3をご紹介します。第1位は、やはり日本。ツートンカラーが厳格さの中にもかわいらしさがあるような気がする。車種も多様でトヨタから日産、ダイハツなど性能の高さが際立つ。第2位は、イタリア。アルファロメオ159のブルーパトカー。美しいフォルムが特徴のスポーツ・セダンで欧州では人気車。イタリアを旅行した人なら一度は見かけたことがあるのではないだろうか。第3位は、ドイツのパトカー(ポルシェ911カレラS)。ドイツといえば、アウトバーン(速度無制限高速道路)。200キロ近いハイスピードのクルマを取り締まるにはポルシェぐらいでないといけないと定めかも。出会ったら記念写真必至。(松原)